

熊本地震

TMAT 災害医療活動報告

平成 28 年 4 月 27 日 12:00

第 13 報

4 月 26 日

○御船町・力合活動拠点（保健センター）

御船町（御船保健センター）

40 人（外科 16 人、内科 18 人、小児科 6 人、）

御船中学校 往診 1 人（内科 1 人）

合計 41 人 ※24 時にて全ての診療活動を終了した。

南区（巡回 11 ヶ所）

力合小学校：1 人（内科 1 人）

力合中学校：0 人

日吉中学校：3 人（内科 1 人、外科 2 人）

日吉小学校：4 人（内科 3 人、内科 1 人）

日吉東小学校：1 人（外科 1 人）

日吉団地集会所：0 人

大福寺：0 人

日吉コミュニティセンター：0 人（0 人）

平成二丁目公園：0 人

栗ノ原団地：0 人

横林団地：0 人

計 9 人

※力合小学校の避難所において、環境整備・ゾーニング（土足区域と非土足区域の区分け整理）を行った。当初は自衛隊の協力を得る予定だったが、ボランティア約 30 人の手伝いを受けて実施した。



力合小学校ゾーニング

熊本県救護調整本部訪問（熊本県庁：河内、野口、永沼）

○県庁に設置されている熊本県救護調整本部を訪問し、活動終了と活動報告をおこなった。

御船町 町長表敬訪問（河内、野口）

○御船町藤木町長を表敬訪問し、撤退と活動の報告を行った。地震発生初期から TMAT が対応したことに対して、感謝の言葉を頂いた。



御船町藤木町長を表敬訪問

上益城地区医療ミーティング（河内、野口参加）

○御船地区の状況を報告したのち、最後の挨拶を行った。

熊本南区医療ミーティング（浦部医師他参加）

○南区医療ミーティングにて、浦部医師より TMAT 撤収の挨拶を行った。



南区統括医師に挨拶

なお、TMAT が活動拠点としていた御船町保健センター仮設診療所は医療ニーズ低下により閉鎖され、各避難所巡回と福祉避難所当直については、自衛隊（看護師主体チーム）、災害支援ナース（看護協会）、CANNUS（看護師）が引き継ぐこととなった。今後医療介入の必要な方は医療機関受診を勧める事とした。



自衛隊に今までの活動を説明

4月27日

7:00 頃 活動拠点となった、御船町保健センターの片づけ作業をし、一緒に活動した保健センターの皆様にお礼を行ったのち、福岡本部にある福岡徳洲会病院へ出発した。

12:00 頃 福岡本部（福岡徳洲会病院）にて最後の隊の解散を行った。



一緒に活動した御船町保健センターの皆さんとお別れの集合写真

これを持ちまして、熊本地震 TMAT 緊急医療支援活動を終了いたします。

今回の活動に際しまして多大な協力を頂いた福岡徳洲会病院の皆様、スタッフ派遣をして頂いた各病院の皆様、物資支援を下さった企業の皆様、その他ご支援を頂いた皆様に深く御礼申し上げます。

引き続き、NPO 法人 TMAT に対するご支援ご協力何卒よろしくお願いいたします。

【派遣メンバー】

御船町・力合活動拠点

河内 順 医師（湘南鎌倉総合病院）
浦部 優子 医師（湘南藤沢徳洲会病院）
村田 宇謙 医師（湘南鎌倉総合病院）
野田 朋宏 医師（静岡徳洲会病院）
片渕 盛将 看護師・感染管理認定看護師（東京西徳洲会病院）
藤田 大樹 看護師（湘南鎌倉総合病院）
藤田 征志 看護師（福岡徳洲会病院）
立本 貴章 看護師（鎌ヶ谷総合病院）
荒川 清 看護師（長崎北徳洲会病院）
水野 敏隆 看護師（近江草津徳洲会病院）
佐野 雅子 看護師・助産師（四街道徳洲会病院）
橋本 昌紀 看護師（札幌東徳洲会病院）
本山 ゆかり 准看護師（鹿児島徳洲会病院）
大内 由花 看護師（仙台徳洲会病院）
八鍬 恵美 看護師・皮膚排泄ケア認定看護師（新庄徳洲会病院）
篠原 裕 薬剤師（武蔵野徳洲会病院）
亀岡 滉希 事務（名古屋徳洲会総合病院）
黒川 翼 事務（近江草津徳洲会病院）
上羅 洋平 事務（野崎徳洲会病院）
依藤 靖幸 救急救命士（神戸徳洲会病院）
新谷 成基 事務（吹田徳洲会病院）
永沼 智至 薬剤師（吹田徳洲会病院）
野口 幸洋 TMAT 事務局（一般社団法人徳洲会）

福岡本部

倉掛 真理子 看護部長（福岡徳洲会病院）
竹中 学 事務部長（福岡徳洲会病院）
屋宜 盛仁 事務（四街道徳洲会病院）

事務局担当

野口 幸洋（NPO 法人 TMAT / 一般社団法人徳洲会東京本部）
（文責 事務局 野口 幸洋）